キクロン

令和５年度科学技術分野の文部科学大臣表彰
【科学技術賞 技術部門】受賞

ー 泡立ちと肌触りを追求したボディタオルとその製造方法の開発 ー

キクロン株式会社は、このたび令和５年度の文部科学大臣表彰において
科学技術賞（技術部門）を 広報室 塩田かおりが受賞したことをお知らせします。

■業績内容

ボディタオルは、主に織物と編物でつくられているが、泡立てるにはソープの大量使用が必要という課題や、身体をこするものという認識があり、肌触りの改善に課題があった。

本開発では、織物の場合、縦糸の間隔を広くして空間をつくり熱処理を加えることで、横糸のウエーブを大きくして立体的にした。編物の場合、肌に触れる表生地は天然繊維、中生地は化繊の構造とし、筒状の4重編み形状を実現した。
本開発により、織物の場合、生地が立体的となり驚くほど素早くたっぷりと泡立ち、ソープの使用量を抑えられた。横糸の素材も研究し、加工、選定することで、肌触りバリエーション展開が可能なボディタオルとなった。編物の場合、筒状の4重編み構造により、中生地（化繊）で泡が出来るとともに、洗い心地・肌触りは天然素材のボディタオルとなり、泡立ちの悪い天然素材の欠点を克服した。

本成果は、（身体を清潔にするには、ボディタオルの活用が効果的）という、ボディ洗い本来の目的である「お肌をきれいにするアイテム」を明確にし、ユーザーニーズに応えた泡立ちと肌触りのボディタオルを開発することで、お客様の満足度を向上させて、市場の拡大・活性化に寄与している。

主要特許：特許第4385029号「ボディタオル及びボディタオルの製造方法」
特許第5956236号「ボディタオル」

ボディタオルラインナップ▶

WASH JAPAN®
キクロン株式会社 http://www.kikulon.com